

第 5 章

地域別構想

第5章 地域別構想

1 地域別構想の趣旨

(1) 地域別構想の趣旨

地域別構想は、市域を構成する地域ごとに、都市計画に関連する事項を中心に、各地域の特性を活かしたまちづくりに関する取組の方針を定めるものです。

地域別構想策定の意義は、市民等に身近な区域において、地域特性を反映したまちづくりの方向性を示すことにより、市民等のまちづくりに関する理解と主体的な参加を醸成し、協働のまちづくりをより一層展開することにあります。

(2) 地域別構想の視点

次のような視点から地域別構想を策定しました。

- 都市づくりのテーマ『瀬戸内に映える持続可能な都市づくり』を受け、各地域において、都市構造の再編の方向づけ、地域資源と特性を活かした地域の魅力化と賑わいの創出、すべての世代が暮らしやすい都市づくりなどを重点的に進めます。
- 市民ワークショップなどで示されたまちづくりに関する意見、提案（参考資料「まちづくり構想図」参照）を反映した計画を作成し、市民等に普及するなど協働のまちづくりの題材として活用される計画づくりに努めます。

(3) 地域区分

地域別構想の地域区分は、日常生活圏の構成を踏まえ、次の5地域とします。

図 地域別構想の地域区分



2 地域別構想

2-1 竹原地域

(1) 現況と課題

本地域は、JR竹原駅を中心に市街地が形成され、商業・業務施設、教育・文化施設、医療・福祉施設、行政サービス施設などの都市機能が集積しており、市の中心地としての役割を担っています。

また、自然資源、町並み保存地区をはじめとする歴史的・文化的資源、産業資源、観光・交流資源などが豊富に分布し、本市の観光・交流拠点としての役割を担っています。

人口、世帯数（一般世帯）とも減少傾向が続いており、65歳以上の高齢者の割合は32.1%（全市32.8%）、高齢単身・高齢夫婦世帯の割合は31.4%（全市32.3%）となっています。

まちづくりに関する市民意識は、「自然災害への安全性」、「防災意識」、「歩行者等への交通安全対策」、「子どもを産み育てやすいまち」などを重視する人の割合が高くなっています。

【まちづくりの主要な課題】

- 都市機能の集積状況を踏まえた同機能の集約化と都市構造の再編
- 既存の観光・交流施設や地域資源を活かしたまちの魅力化と観光・交流の振興
- すべての世代にやさしいまちづくり
- 自然災害への備え、歩行者等への交通安全対策など防災・安全に配慮したまちづくり

図 年齢三区分別人口及び割合の推移

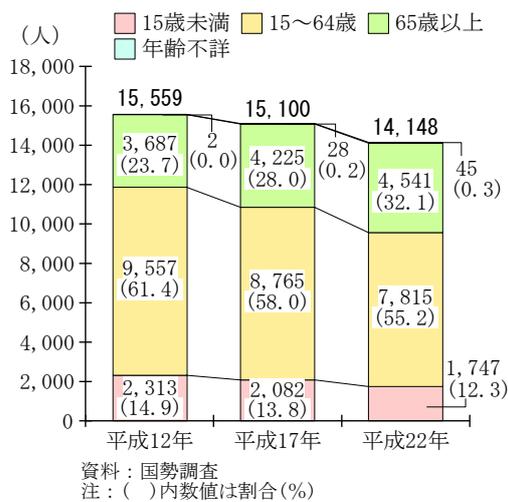


図 家族構成別一般世帯数及び割合の推移

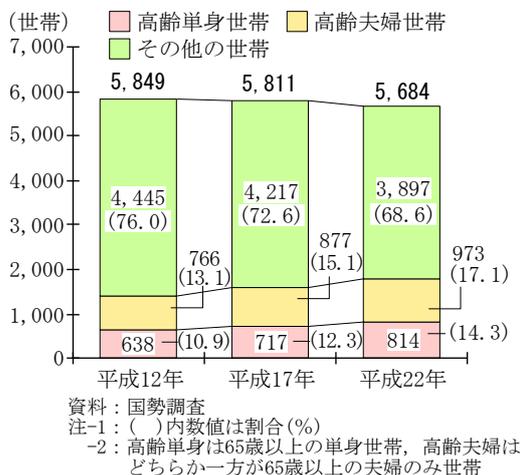


図 まちづくりの要素に対する評価と重要度に関する市民意識

要素	回答者数 379	＜不満率＞ (%)	＜重要度＞ (%)
都市・交通	生活道路の利便性	41.2	44.6
	バスの利便性	34.6	31.1
	鉄道の利便性	55.1	49.1
防災・安全	自然災害への安全性	44.9	55.4
	防災意識	33.5	58.6
	歩行者等への交通安全対策	53.0	55.9
環境・景観	犯罪の少ないまち	19.0	39.3
	水質保全	35.6	40.4
	自然環境の保全・活用	34.6	45.6
福祉・子育て	景観保全・形成	10.8	34.8
	誰もが暮らしやすいまち	34.0	44.9
	子どもを産み育てやすいまち	56.7	64.1
文化・産業	子どもの遊び場・居場所づくり	31.9	42.5
	文化・スポーツ施設の整備・充実	37.7	43.3
	商業機能強化、買い物の利便性向上	27.4	35.9
観光振興	29.0	47.5	

資料：竹原市まちづくりアンケート調査（平成25年度）
注：地域での暮らし（都市計画に関する項目）について、現在の状況・満足度と今後の取組に対する重要度を質問
不満率：まちづくりの要素に対する評価について、「満足していない」など否定的な回答をした人の割合
重要度：今後の取組で「力を入れてほしい」と回答した人の割合

注：配布数 966（票）、回収数 379（票）、回収率 39.2（%）

(2) 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

ア 地域の位置づけ

- ◆ J R 竹原駅北側に商業・業務施設、医療・福祉施設、教育・文化施設、行政サービス施設などが集積し、多様な都市的サービスを提供する『都市拠点』
- ◆ 自然資源、歴史的・文化的資源、産業資源、観光・交流資源などが豊富に分布し、観光都市としての活力を牽引する『観光・交流拠点』

イ 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

【地域の将来像】

若者が集まり、自然と文化のある 日本一住みよいまち「竹原」

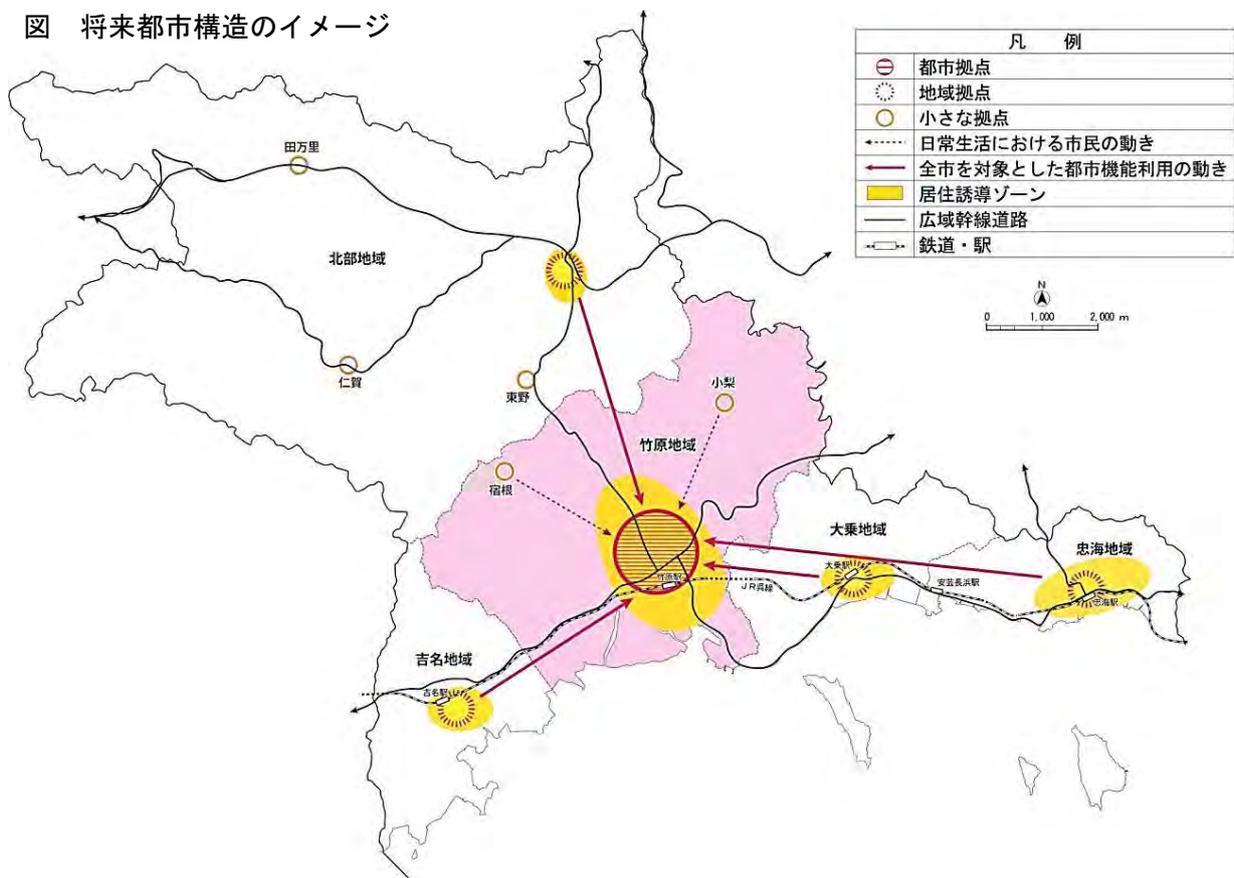
【まちづくりの基本的方向】

- ① 地域資源を活かした魅力あるまちづくり
- ② まちなかの魅力化と賑わいづくり
- ③ 観光・交流が盛んで、活力のあるまちづくり
- ④ 若者・子育て世帯が定住できるまちづくり
- ⑤ 安全・安心のまちづくり

ウ 都市構造形成の方針

- 都市拠点への全市を対象とした都市的サービス機能の集約化
- 小梨地区、宿根地区における生活サービス機能の維持
- 都市拠点とその周辺地域への居住の誘導
- 居住地、各地域、各地区と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実

図 将来都市構造のイメージ



(3) まちづくりの方針

ア 土地利用の方針

<都市的土地利用>

- 用途地域の指定区域のうち市街化の進んでいない区域の土地利用の方針の見直し
- 住宅系の土地利用の区域における住宅主体の土地利用の維持と良好な住環境の維持
- J R竹原駅北側周辺から新開地区周辺の「複合住宅地」における住宅と商業施設などが共存する利便性の高い土地利用の維持
- J R竹原駅北側周辺から新町地区周辺の「中心商業地」における多様な都市機能の集積
- 公共公益施設、商業・サービス施設などの複合的な都市機能の整備とJ R竹原駅、商店街、町並み保存地区などとの一体的な整備による『都心核』の形成
- 新開地区の国道 432号沿道の「沿道商業地」における土地の有効利用と商業・サービス施設の立地誘導
- J R竹原駅南側の大規模工場集積地における「専用工業地」としての土地利用の維持
- 工場、流通施設などが立地している沿岸部や新庄地区の国道 432号沿道などにおける「工業・流通用地」としての土地利用の維持と周辺の住環境の保護
- 国道 185号、同 432号などの幹線道路沿道における休憩所や給油所などの沿道サービス施設の立地誘導と背後地の住環境の保護

<農業的土地利用>

- 農地の保全及び「農」とふれあう場などとしての多様な活用
- 集落における生活環境の整備などによる快適な住環境の確保

<その他の土地利用>

- 町並み保存地区、的場公園、朝日山などの観光・レクリエーション用地としての活用
- ハチの干潟や賀茂川の桜並木など良好な自然環境・自然緑地の保全

イ 都市施設の整備・活用の方針

<道路>

- 広域幹線道路、地区幹線道路の整備
 - ・国道 185号、同 432号（歩道の整備、新開地区の道路拡幅）
 - ・一般県道南方竹原線
 - ・都市計画道路京栄町番屋線、同楠通成井線 など
- 歩行者、自転車空間のネットワークの整備、安全性と利便性の確保
- 道路空間のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入
- 道路整備における歴史的町並みと調和したデザインの採用

<公共交通>

- 各地域と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実
- J R竹原駅の駅前広場の整備、ユニバーサルデザインの導入の促進
- バス停などの環境整備（バリアフリー化など）の充実

<竹原港>

- 市街地と港を結ぶ道路の整備、防災機能の充実
- バスベイ、タクシープール、駐車場の整備、拡充

<駐車場・駐輪場>

- 町並み保存地区周辺、的場公園などにおける駐車場・駐輪場の整備、拡充



(つづき)

＜都市公園等＞

- 中央公園の防災拠点としての整備の検討
- 的場公園の整備方針の見直しと計画的な整備
- まちなかの空き家・空き地を活用した小公園や緑地の確保
- 公有未利用地の活用によるコミュニティの場，防災空間など多様な機能を有する広場の整備
- 賀茂川河岸や臨海部の親水空間の整備，都市公園等を結ぶネットワークの形成

＜下水道等＞

- 中心市街地などにおける公共下水道の重点的整備
- 地域に最も適した污水处理施設の整備

ウ 市街地の整備方針

＜計画的な市街地の形成＞

- 都市機能の都市拠点への集約化及び居住の誘導
- 拠点相互を結ぶネットワークの充実
- 市中心部や市街地の活性化，まちなか居住の促進
- 新開土地区画整理事業の計画的な事業の推進

新開土地区画整理事業



＜既成市街地における居住環境の向上＞

- 街並み環境整備事業などによる居住環境の向上
- 空き家の活用及び適正管理，老朽化した空き家の除却と跡地の有効利用
- 未利用地や遊休公有地の活用などによる良質な住宅の供給

エ 防災都市づくりの方針

＜災害対策の推進＞

- 急傾斜地崩壊対策事業，砂防事業などの土砂災害対策の推進
- 河川改修，公共下水道・排水施設の整備，高潮対策事業などの水害対策の推進
- 各種災害に係るハザードマップの周知



急傾斜地崩壊対策事業（宮原地区）

＜都市構造の防災化＞

- 災害リスクの低い区域への居住の誘導などによる災害に強い都市構造への誘導
- 橋梁の耐震補強，道路法面の防災工事
- 河川・港湾，海岸堤防などの耐震性の向上
- 重要な公共施設が集中する地域などにおける市街地の不燃化・難燃化，耐震化の促進

＜防災・緊急対応基盤の構築＞

- 都市拠点としての防災拠点機能の充実
- 都市公園，公共施設などを活用した避難場所などの確保
- 中央公園における備蓄倉庫の設置などによる防災機能の充実
- 幹線道路，橋梁などの整備による避難路ネットワークの形成
- ライフライン施設の耐震性の向上と応急復旧体制の迅速化

オ 都市環境形成の方針

<自然環境の保全と活用>

- 朝日山，中国自然歩道，賀茂川，同河口周辺の干潟などの自然レクリエーション資源のネットワーク化，自然体験・学習などの場としての活用
- 小梨地区における虚空蔵山，名水などの自然資源を活用した地域の活性化

<快適な都市環境の創出>

- 町並み保存地区及びその周辺の歴史的建造物などの保存・活用，歴史・文化にふれあえる場の確保と強化などによる地区の魅力づくり
- 地域の自然資源，歴史的・文化的資源，産業資源などを活かしたまちづくり
- 市街地内の緑とオープンスペースの保全・創出，都市緑化
- 良好な都市環境を維持するための空き家，空き地の有効活用と適正な管理



カ 都市景観形成の方針

<竹原らしさを継承する景観形成>

- 竹原市歴史的風致維持向上計画に基づく歴史的景観の維持・向上

<魅力と賑わいのある景観の創出>

- 公共空間や建築物における竹原らしいデザインの検討
- 主要道路沿道，JR竹原駅や観光・交流施設周辺などにおける重点的な景観形成

キ 暮らしやすい都市空間形成の方針

<すべての世代が暮らしやすい都市環境の整備>

- 歩行者空間，公共施設，公園などのバリアフリー化
- 歩道の設置・改善，バスベ이의整備，交通安全施設の整備，ゾーン30の区域拡大などによる安全で快適な交通環境の確保
- 道路，公園，駐車場・駐輪場などへの防犯灯の設置などによる犯罪，事故の起こりにくいまちづくり

<まちなか居住の魅力化>

- 空き家，空き地を活用した若者，子育て世帯向け住宅，高齢者，障害者向け住宅などの供給の促進，交流・レクリエーション空間の整備
- 商業・娯楽施設，医療・福祉施設・子育て支援施設などの拠点への集積化による利便性と魅力の向上

<拠点の魅力化>

- 居住者や来訪者が安心して回遊できる歩行者ネットワークの構築
- 公共空間のバリアフリー化，ユニバーサルデザインの導入
- 賑わいと活力のある商店街の形成
- 定住や起業の支援，市民交流空間の確保
- 商業施設，医療・福祉施設，子育て支援施設などの都市拠点への集積化の誘導

ク 観光・交流空間の魅力づくりの方針

＜観光・交流資源などの魅力化と活用＞

- 町並み保存地区及び周辺地区の魅力化
 - ・町並み保存地区のバリアフリー化，ユニバーサルデザインの検討
 - ・町並み保存地区と公共施設ゾーンやJ R竹原駅などを結ぶ歩行空間の整備と回遊性の向上
 - ・統一されたデザインによる観光案内版の設置
 - ・自然景観の保全，歴史的建造物などの活用による修景
- 町並み保存地区，的場公園，朝日山などの観光・交流拠点の整備，充実
- 空き家，空き地を活用した交流空間の整備
- 観光・周遊ルートの整備
 - ・海岸沿いの自然景観などを活かした観光ルートの整備
 - ・観光・交流拠点を巡る周遊ルートの整備，充実（駐車場・駐輪場の確保など）

たけはら海の駅



＜観光客の受入環境の充実＞

- J R竹原駅，道の駅たけはら，たけはら海の駅などにおける休憩・交流スペースの充実，情報提供，案内機能の充実
- 多言語表記やサイン表記など誰にでも分かりやすい案内表示の導入

(4) 協働のまちづくりの方針

住民自治組織などとの協働により，地域の特徴を活かしたまちづくりを着実に進めます。

【協働のまちづくりの取組例】

- 自然資源，歴史的・文化的資源，産業・社会資源を活かした地域の魅力づくり
- 生活道路，小公園の整備などによる居住環境の改善
- 公園里親制度の活用など市民参加型公園管理
- まちの美化などによる良好な景観形成
- 市民等による歴史的・文化的景観資源の掘り起こし
- 観光・交流資源，施設などの協働による管理と地域活性化に資する活用の促進
- 自主防災組織の取組の強化などによる地域防災力の向上

リフレッシュ瀬戸内（的場公園）



(5) 都市拠点形成の方針

J R竹原駅，既存の商店街，公共施設ゾーン，町並み保存地区，新開土地区画整理事業などを含む区域を市民及び来訪者に多様な都市的サービスを提供する『都市拠点』として位置づけ，行政と市民等との協働により，世代を超えた市民や来訪者が楽しく行き交う，活力のある拠点づくりを進めます。

公共施設ゾーン

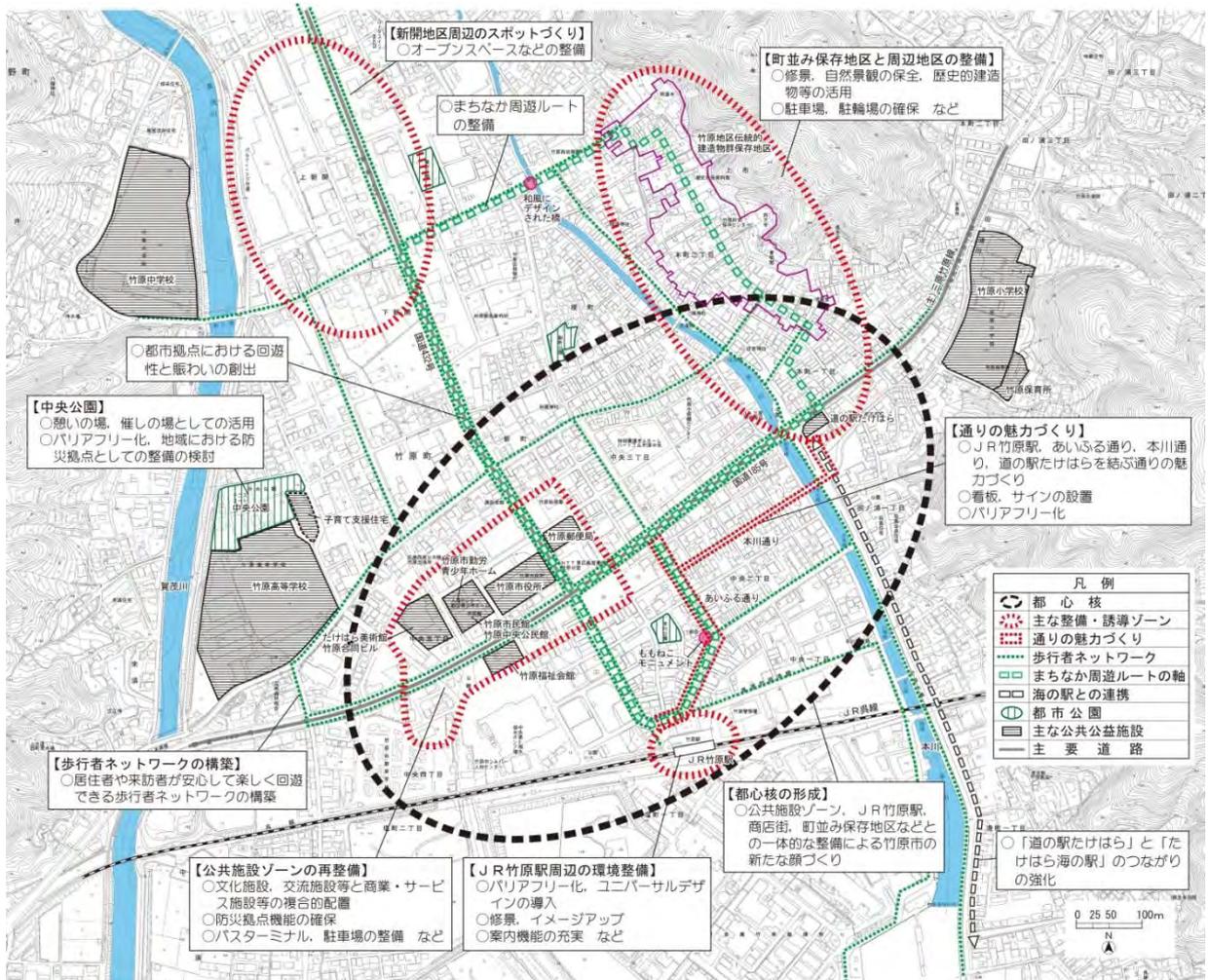


【都市拠点形成に向けた主な取組】

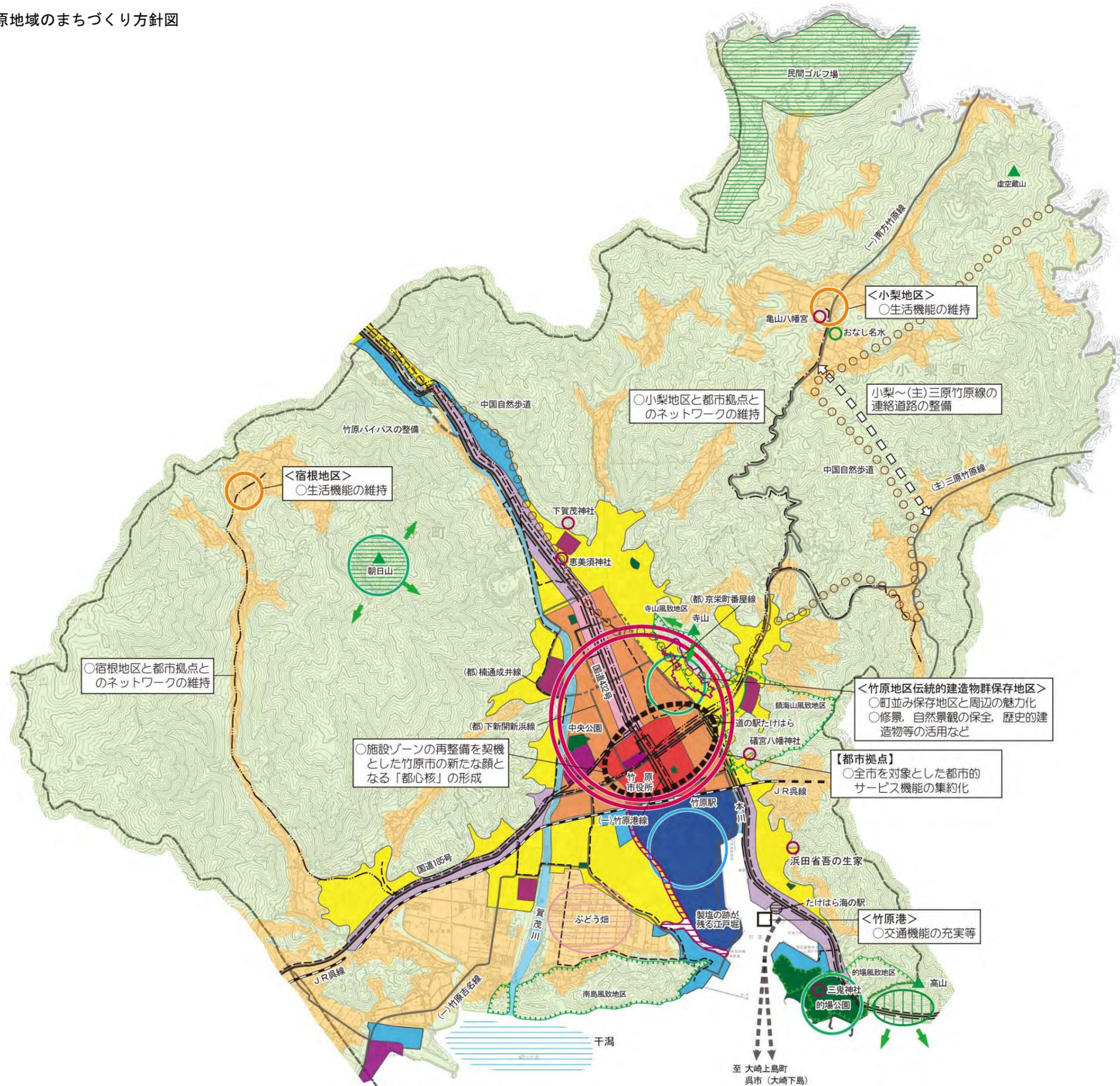
- 都心核の形成
 - ・公共施設ゾーンの整備
 - ・町並み保存地区と周辺地区の整備
 - ・J R竹原駅周辺の交通結節点としての環境整備
 - ・商店街、通りの魅力づくり
 - ・上記の一体的整備による竹原の新たな顔づくり
- 公共空間のバリアフリー化，ユニバーサルデザインの導入
- 定住，起業の支援，市民交流の空間の確保
- 医療・福祉施設，商業施設，子育て支援施設などの集積化の誘導
- 公共施設ゾーン，J R竹原駅，町並み保存地区，商店街などを結ぶ歩行者ネットワークの形成と歩行空間の魅力化
- 公民協働プロジェクトなどによる事業の推進
- 住民，事業者などによるエリアマネジメントの支援 など



図 都市拠点形成の方針



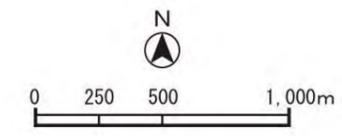
■竹原地域のまちづくり方針図



凡例	
拠点地区等	都市拠点 (Red circle with dot)
	都心核 (Red circle with center dot)
	小さな拠点 (Orange circle)
	産業拠点 (Blue circle)
	観光・交流拠点 (Green circle)
土地利用	住宅地 (Yellow)
	複合住宅地 (Orange)
	中心商業地 (Red)
	沿道商業地 (Pink)
	専用工業地 (Dark Blue)
	工業・流通用地 (Light Blue)
	沿道サービス用地 (Purple)
	農地・集落 (Light Orange)
	観光・レクリエーション用地 (Light Green)
	山林、原野等 (Light Green)
	河川・湖沼・水面 (Blue)
都市施設等	主要公共公益施設 (Purple)
	都市公園等 (Green)
	幹線道路等 (Dashed line)
	鉄道、駅 (Black line with cross-ticks)
公共交通	路線バス (Dashed line)
	福祉バス (Dotted line)
	高速バス (Dash-dot line)
	乗合バス (Dotted line)
	福祉タクシー (Dotted line)
	港湾 (Square)

地域資源 凡例	
▲	自然的資源
○	歴史的・文化的資源
○	産業・社会的資源
○	中国自然歩道
→	眺望

※地域資源は、市民ワークショップによる。



2-2 吉名地域

(1) 現況と課題

本地域は、中央にJR吉名駅、小学校（中学校に統合予定）、保育所、公民館、行政サービス施設などが立地し、その周辺にまとまりのある住宅地が分布してコンパクトな市街地が形成されています。

また、海岸沿いの自然景観、漁港やレンガ工場など産業景観、内陸部の田園景観など特徴的な景観が形成されており、本市の持つ多様な魅力の一端を担っています。

人口、世帯数（一般世帯）とも減少傾向が続いており、65歳以上の高齢者の割合は36.4%（全市32.8%）、高齢単身・高齢夫婦世帯の割合は33.7%（全市32.3%）となっています。

まちづくりに関する市民意識は、「生活道路の利便性」、「鉄道の利便性」、「自然災害への安全性」、「防災意識」、「歩行者等への交通安全対策」、「自然環境の保全・活用」、「子どもを産み育てやすいまち」などを重視する人の割合が高くなっています。

【まちづくりの主要な課題】

- 道路、鉄道の利便性と地域の中心地としての機能の向上
- 地域資源を活かしたまちの魅力化と観光・交流の振興
- すべての世代にやさしいまちづくり
- 自然災害への備え、歩行者等への交通安全対策など防災・安全に配慮したまちづくり

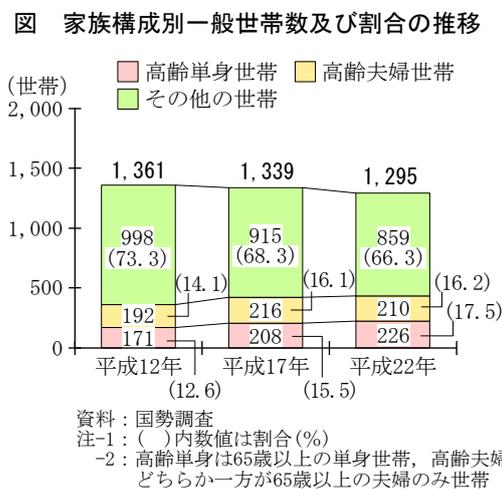
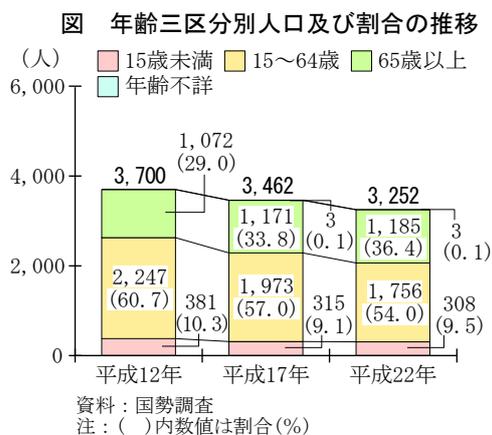


図 まちづくりの要素に対する評価と重要度に関する市民意識

要素	回答者数 96		
	<不満率>	<重要度>	
都市・交通基盤	生活道路の利便性	52.1	55.2
	バスの利便性	49.0	41.7
	鉄道の利便性	57.3	50.0
防災・安全	自然災害への安全性	50.0	57.3
	防災意識	38.5	59.4
	歩行者等への交通安全対策	65.6	66.7
環境・景観	犯罪の少ないまち	18.8	29.2
	水質保全	31.3	47.9
	自然環境の保全・活用	39.6	54.2
福祉・子育て	景観保全・形成	13.5	26.0
	誰もが暮らしやすいまち	36.5	46.9
	子どもを産み育てやすいまち	55.2	62.5
文化・産業	子どもの遊び場・居場所づくり	41.7	39.6
	文化・スポーツ施設の整備・充実	34.4	37.5
	商業機能強化，買い物の利便性向上	38.5	42.7
観光振興	27.1	44.8	

資料：竹原市まちづくりアンケート調査（平成25年度）
注：地域での暮らし（都市計画に関する項目）について、現在の状況・満足度と今後の取組に対する重要度を質問
不満率：まちづくりの要素に対する評価について、「満足していない」など否定的な回答をした人の割合
重要度：今後の取組で「力を入れてほしい」と回答した人の割合

注：配布数 242（票），回収数 96（票），回収率 39.7（%）

(2) 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

ア 地域の位置づけ

- ◆中央にJR吉名駅、コミュニティ施設、行政サービス施設などが立地し、市民の日常生活を支える『地域拠点』
- ◆自然景観、産業景観、田園景観などの特徴的な景観と豊富な特産物を有し、本市の持つ多様な魅力の一端を担う『産業・交流ゾーン』

イ 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

【地域の将来像】

きて、みて、住んで、よかったと実感できる「吉名」

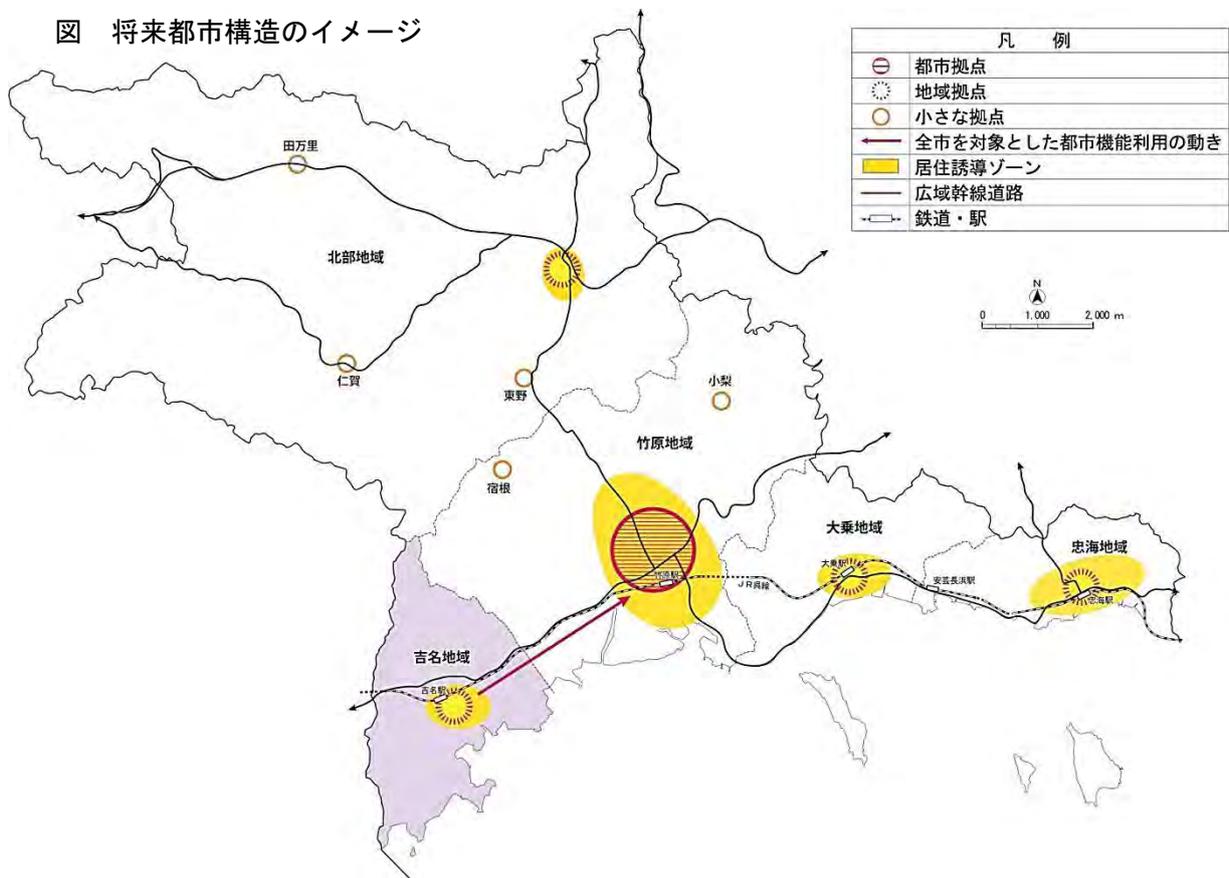
【まちづくりの基本的方向】

- ① 農と食と瀬戸内海を活かした魅力あるまちづくり
- ② 誰もが楽しく参加するコミュニティづくり
- ③ 住民と企業との連携による活力あるまちづくり
- ④ 誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり
- ⑤ 安全・安心・便利さを支えるネットワークづくり

ウ 都市構造形成の方針

- 地域拠点における吉名地域を対象とした都市的サービス機能の充実
- 地域拠点の周辺や駅周辺への居住の誘導
- 居住地、地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実

図 将来都市構造のイメージ



(3) まちづくりの方針

ア 土地利用の方針

<都市的土地利用>

- 用途地域の指定区域のうち市街化の進んでいない区域の土地利用の方針の見直し
- 住宅系の土地利用の区域における住宅主体の土地利用の維持と良好な住環境の維持
- J R吉名駅周辺から吉名小学校前交差点周辺の「近隣商業地」における地域住民を対象とした商業・サービス施設、店舗などの立地誘導
- 臨海部の企業埋立地における「専用工業地」としての土地利用の維持
- 工場と住宅が混在している沿岸部及び吉名地区柏における「工業・流通用地」としての土地利用の維持と周辺の住環境の保護

<農業的土地利用>

- 農地の保全及び「農」とふれあう場などとしての多様な活用
- 集落における生活環境の整備などによる快適な住環境の確保



<その他の土地利用>

- 沖辺地区の海浜、曾井地区の民間レクリエーション地などの観光・レクリエーション用地としての活用
- 龍島やその周辺の干潟など良好な自然環境・自然緑地の保全

イ 都市施設の整備・活用の方針

<道路>

- 広域幹線道路，地区幹線道路の整備，道路空間のバリアフリー化
 - ・国道 185号（安芸津バイパスの整備）
 - ・一般県道竹原吉名線（皆実地区，吉名地区），同吉名停車場線
- 歩行者，自転車空間のネットワークの整備，安全性と利便性の確保

<公共交通>

- 居住地，地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実
- 地域の実情に応じた公共交通手段の検討
- J R吉名駅，バス停などの環境整備（バリアフリー化など）の充実

<都市公園等>

- 公有未利用地の活用によるコミュニティの場，防災空間など多様な機能を有する広場の整備
- 郷川河岸における歩行者空間の確保，都市公園等を結ぶネットワークの形成

<下水道等>

- 地域に最も適した污水处理施設の整備

ウ 市街地の整備方針

<計画的な市街地の形成>

- 都市機能の地域拠点への集約化及び居住の誘導
- 拠点相互を結ぶネットワークの充実

<既成市街地における居住環境の向上>

- 空き家の活用及び適正管理，老朽化した空き家の除却と跡地の有効利用
- 未利用地や遊休公有地の活用などによる良質な住宅の供給



エ 防災都市づくりの方針

<災害対策の推進>

- 急傾斜地崩壊対策事業，砂防事業などの土砂災害対策の推進
- 高潮対策事業や用排水路の改修・整備などの水害対策の推進
- 各種災害に係るハザードマップの周知

<都市構造の防災化>

- 災害リスクの低い区域への居住の誘導などによる災害に強い都市構造への誘導
- 橋梁の耐震補強，道路法面の防災工事，河川・海岸堤防などの耐震性の向上

<防災・緊急対応基盤の構築>

- 吉名小学校跡地の活用などによる地域の防災拠点，避難場所などの確保
- 都市公園，公共施設などを活用した地区防災拠点機能や避難場所などの確保
- 幹線道路などによる避難路ネットワークの形成
- ライフライン施設の耐震性の向上と応急復旧体制の迅速化

オ 都市環境形成の方針

<自然環境の保全と活用>

- 龍島などの景観の良好な海浜，奥山などの自然レクリエーション資源のネットワーク化，自然体験・学習などの場としての活用

<快適な都市環境の創出>

- レンガ工場，漁港などを活かした地域の文化的資源，産業資源にふれあえる場の提供
- 市民農園などの農とふれあえる場，農業体験や交流の場の提供



カ 都市景観形成の方針

<地域資源を活かした景観形成>

- 地域の景観を特徴づける田園景観，レンガ工場などの産業景観の維持・向上

<魅力と賑わいのある景観の創出>

- 公共空間や建築物における景観の魅力化，竹原らしいデザインの検討
- 主要道路沿道における重点的な景観形成

キ 暮らしやすい都市空間形成の方針

<すべての世代が暮らしやすい都市環境の整備>

- 歩道の設置・改善，バスベ이의整備，交通安全施設の整備などによる安全で快適な交通環境の確保
- 道路，公園などへの防犯灯の設置などによる犯罪，事故の起こりにくいまちづくり

<まちなか居住の魅力化>

- 空き家，空き地を活用した住宅の供給などの促進，交流・レクリエーション空間の整備

<地域拠点の魅力化>

- 吉名小学校跡地などの公有未利用財産の活用
- コミュニティ拠点施設整備や，JR駅などの公共空間のバリアフリー化
- 交流サロンなど定住につながる住民交流空間の確保

ク 観光・交流空間の魅力づくりの方針

<観光・交流資源などの魅力化と活用>

- 農と食と瀬戸内海を活かした地域の魅力化と観光・交流の促進
 - ・じゃがいも、カキの特産を活かした料理の提供など産業資源の観光・交流への活用
 - ・空き家を活用した体験農業、漁業など担い手育成につながる定住の促進



<観光客の受入環境の充実>

- 地域拠点への観光客の休憩・交流スペースの充実，観光情報提供，観光ルート案内機能の充実

(4) 協働のまちづくりの方針

住民自治組織などとの協働により，地域の特徴を活かしたまちづくりを着実に進めます。

【協働のまちづくりの取組例】

- 自然資源，歴史的・文化的資源，産業・社会資源を活かした地域の魅力づくり
- 生活道路，小公園の整備などによる居住環境の改善
- 公園里親制度の活用など市民参加型公園管理
- まちの美化などによる良好な景観形成
- 市民等による歴史的・文化的景観要素の掘り起こし
- 観光・交流資源，施設などの協働による管理と地域活性化に資する活用の促進
- 自主防災組織の取組の強化などによる地域防災力の向上

(5) 地域拠点形成の方針

J R吉名駅南側に形成されている吉名小学校跡地などを中心とした市街地の区域を市民の日常生活を支える『地域拠点』として位置づけ，行政と市民等との協働により，誰もが楽しく参加するコミュニティ拠点づくりを進めます。

【地域拠点形成に向けた主な取組】

- 地域拠点への生活利便施設などの立地誘導
- 吉名小学校跡地の活用
- J R吉名駅周辺的环境整備（バリアフリー化）
- 歩行者ネットワークの形成（郷川沿いのウォーキングルートの整備など）
- 住民等によるコミュニティ拠点施設などのマネジメントの支援 など

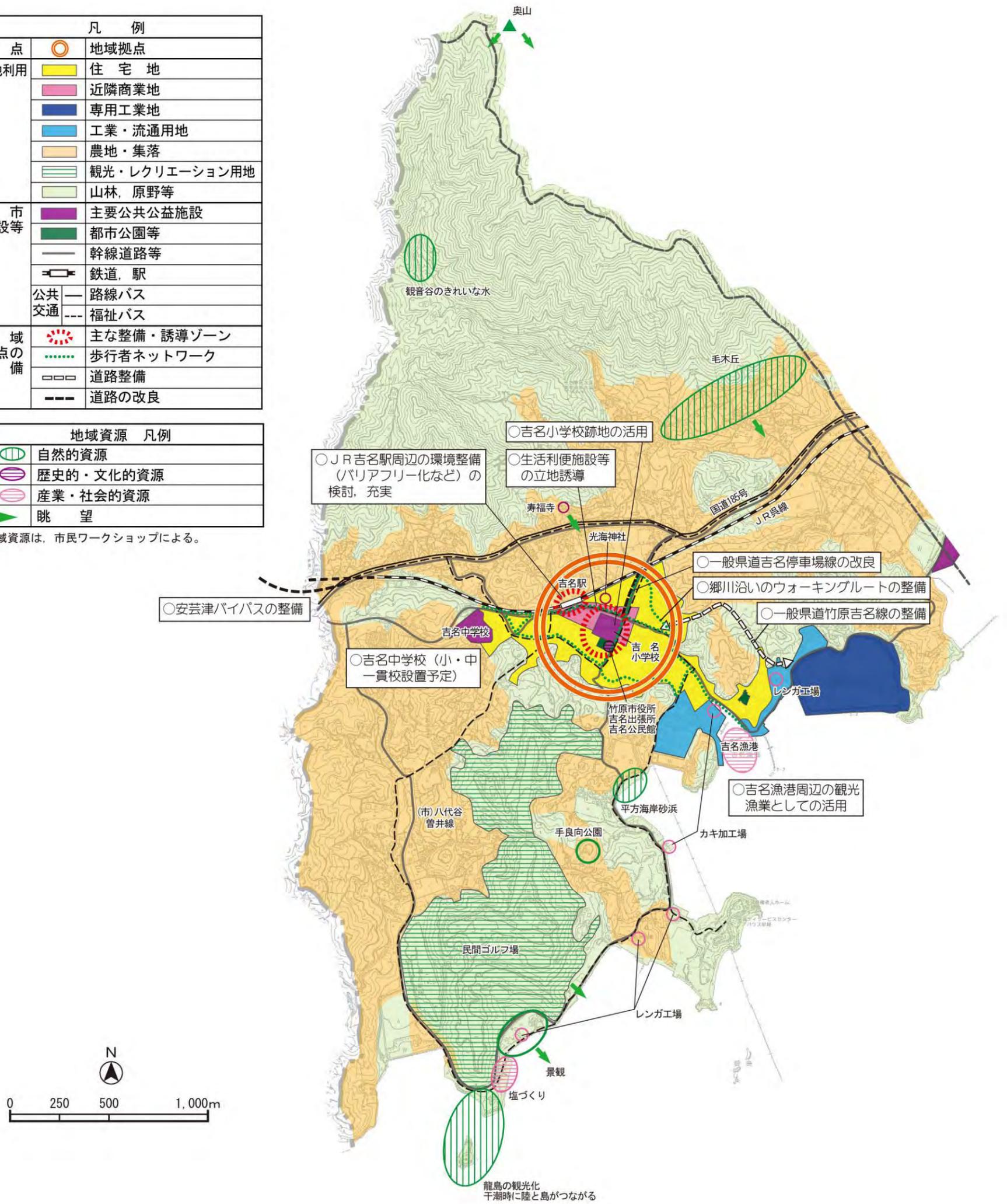


■吉名地域のまちづくり方針図

凡 例	
拠 点	○ 地域拠点
土 地 利 用	■ 住宅地
	■ 近隣商業地
	■ 専用工業地
	■ 工業・流通用地
	■ 農地・集落
	■ 観光・レクリエーション用地
	■ 山林、原野等
都 市 施 設 等	■ 主要公共公益施設
	■ 都市公園等
	— 幹線道路等
	— 鉄道、駅
	公共交通
地 域 拠 点 の 整 備	● 主な整備・誘導ゾーン
	● 歩行者ネットワーク
	□□ 道路整備
	--- 道路の改良

地域資源 凡例	
▲ (楕円)	自然的資源
○ (楕円)	歴史的・文化的資源
○ (楕円)	産業・社会的資源
➡	眺 望

※地域資源は、市民ワークショップによる。



2-3 大乗地域

(1) 現況と課題

本地域は、中央にJR大乗駅、小学校、こども園、公民館、行政サービス施設などが立地して地域の中心地が形成され、沿岸東部に工業地、沿岸部から山麓部にかけて住宅地と集落が形成されています。

本地域は、自然資源や産業資源が豊富に分布しているほか、内陸部に総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドが整備されており、広域的なスポーツ・交流拠点としての役割を担っています。

人口、世帯数（一般世帯）とも減少傾向が続いており、65歳以上の高齢者の割合は29.6%（全市32.8%）、高齢単身・高齢夫婦世帯の割合は30.8%（全市32.3%）となっています。

まちづくりに関する市民意識は、「防災意識」、「歩行者等への交通安全対策」、「子どもを産み育てやすいまち」、「子どもの遊び場・居場所づくり」などを重視する人の割合が高くなっています。

【まちづくりの主要な課題】

- 子どもの遊び場・居場所づくりにも配慮した地域の中心地としての機能の向上
- 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドや地域資源を活かしたスポーツ、観光・交流の振興
- すべての世代にやさしいまちづくり
- 自然災害への備え、歩行者等への交通安全対策など防災・安全に配慮したまちづくり

図 年齢三区分別人口及び割合の推移

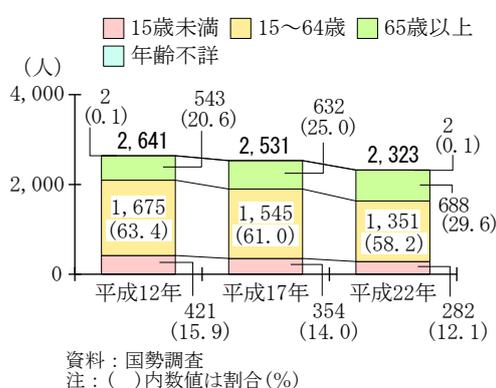


図 家族構成別一般世帯数及び割合の推移

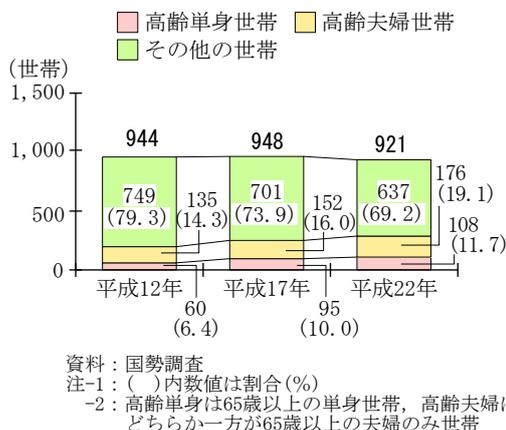


図 まちづくりの要素に対する評価と重要度に関する市民意識

回答者数 73 <不満率> <重要度> (%)

要素	不満率 (%)	重要度 (%)	
都市・交通盤	生活道路の利便性	41.1	45.2
	バスの利便性	34.2	30.1
	鉄道の利便性	52.1	47.9
防災・安全	自然災害への安全性	32.9	49.3
	防災意識	38.4	60.3
	歩行者等への交通安全対策	53.4	53.4
	犯罪の少ないまち	8.2	28.8
環境・景観	水質保全	27.4	38.4
	自然環境の保全・活用	37.0	49.3
	景観保全・形成	9.6	21.9
福祉・子育て	誰もが暮らしやすいまち	34.2	39.7
	子どもを産み育てやすいまち	50.7	54.8
	子どもの遊び場・居場所づくり	46.6	53.4
文化・産業	文化・スポーツ施設の整備・充実	24.7	28.8
	商業機能強化、買い物の利便性向上	49.3	46.6
	観光振興	27.4	42.5

資料：竹原市まちづくりアンケート調査（平成25年度）
注：地域での暮らし（都市計画に関する項目）について、現在の状況・満足度と今後の取組に対する重要度を質問
不満率：まちづくりの要素に対する評価について、「満足していない」など否定的な回答をした人の割合
重要度：今後の取組で「力を入れてほしい」と回答した人の割合

注：配布数164（票）、回収数73（票）、回収率44.5（%）

(2) 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

ア 地域の位置づけ

- ◆中央にJR大乗駅，コミュニティ施設，行政サービス施設などが立地し，市民の日常生活を支える『地域拠点』
- ◆良好な自然環境，豊富な産業資源と総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドを有する『スポーツ・交流ゾーン』

イ 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

【地域の将来像】

住んでよかった，これからも住み続けたい やさしいまち「大乗」

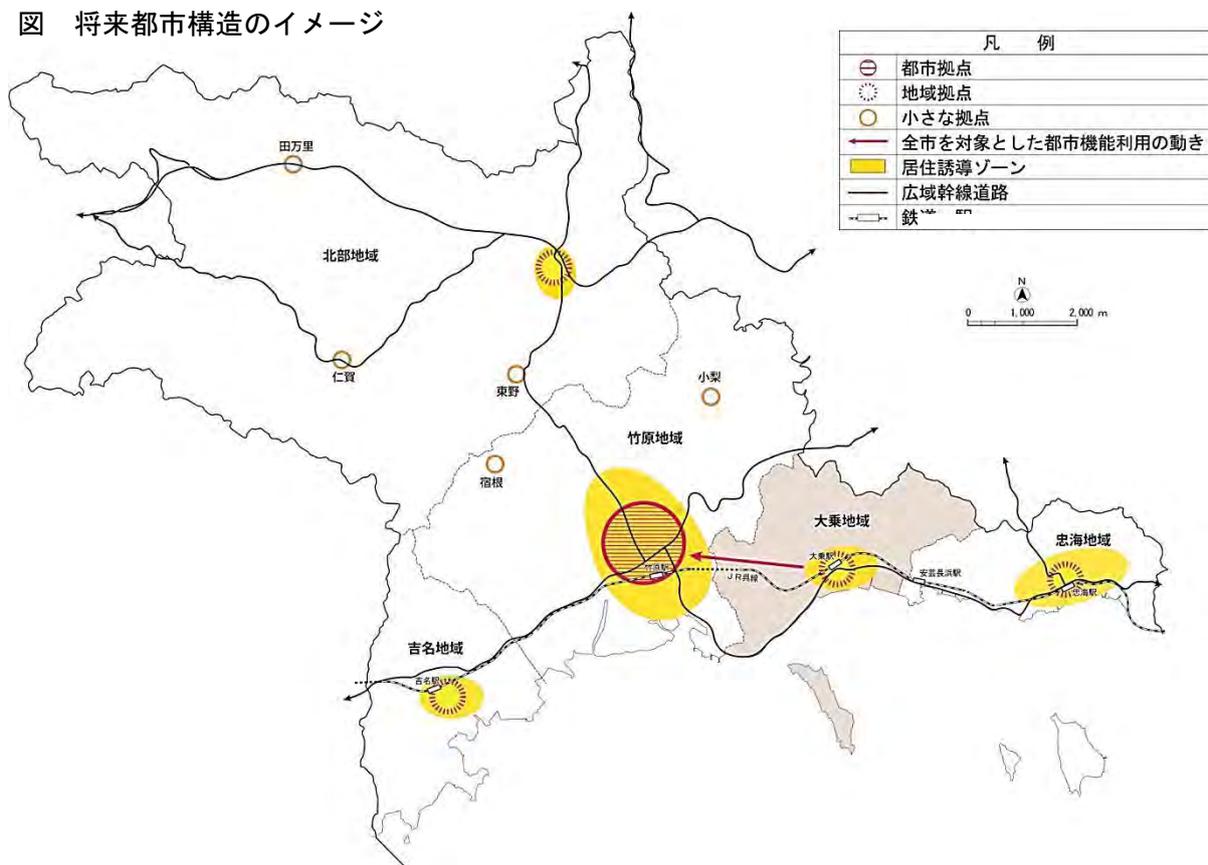
【まちづくりの基本的方向】

- ① 豊かな自然環境を活かした楽しく暮らせるまちづくり
- ② 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドを活かした交流豊かなまちづくり
- ③ 住民が相互につながり，助けあう，温もりのあるまちづくり
- ④ 多世代のコミュニケーションと活躍の場があるまちづくり
- ⑤ 誰もが安心して，安全に暮らせるまちづくり

ウ 都市構造形成の方針

- 地域拠点における大乗地域を対象とした都市的サービス機能の充実
- 地域拠点の周辺や駅周辺への居住の誘導
- 居住地，地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実

図 将来都市構造のイメージ



(3) まちづくりの方針

ア 土地利用の方針

<都市的土地利用>

- 用途地域の指定区域のうち市街化の進んでいない区域の土地利用の方針の見直し
- 住宅系の土地利用の区域における住宅主体の土地利用の維持と良好な住環境の維持
- JR大乗駅周辺の「近隣商業地」における地域住民を対象とした商業・サービス施設、店舗などの立地誘導
- 臨海部の火力発電所における「専用工業地」としての土地利用の維持
- 沿岸部の工場と住宅が混在している区域における「工業・流通用地」としての土地利用の維持と周辺の住環境の保護
- 国道 185号への休憩所や給油所などの沿道サービス施設の立地誘導と背後地の住環境の保護

<農業的土地利用>

- 農地の保全及び「農」とふれあう場などとしての多様な活用
- 集落における生活環境の整備などによる快適な住環境の確保

<その他の土地利用>

- 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドなどの文化・スポーツレクリエーション拠点としての活用
- 阿波島や高山など良好な自然環境・自然緑地の保全

イ 都市施設の整備・活用の方針

<道路>

- 広域幹線道路の整備（国道 185号の歩道整備）、道路空間のバリアフリー化
- 歩行者、自転車空間のネットワークの整備、安全性と利便性の確保

<公共交通>

- 居住地、地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実
- 地域の実情に応じた公共交通手段の検討
- JR大乗駅、バス停などの環境整備（バリアフリー化など）の充実

<都市公園等>

- 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドの文化・スポーツレクリエーション拠点としての機能の充実、防災拠点としての整備、生物多様性を支える自然環境の確保
- 公有未利用地の活用によるコミュニティの場、防災空間など多機能を有する広場の整備
- 大乗川河岸などを利用した地域拠点における歩行者ネットワークの形成

<下水道等>

- 地域に最も適した污水处理施設の整備

ウ 市街地の整備方針

<計画的な市街地の形成>

- 都市機能の地域拠点への集約化及び居住の誘導、拠点相互を結ぶネットワークの充実

<既成市街地における居住環境の向上>

- JR呉線北側の既成市街地における生活道路の整備
- 空き家の活用及び適正管理、老朽化した空き家の除却と跡地の有効利用
- 未利用地や遊休公有地の活用などによる良質な住宅の供給

エ 防災都市づくりの方針

<災害対策の推進>

- 用排水路の改修・整備，高潮対策事業などの水害対策の推進
- 各種災害に係るハザードマップの周知

<都市構造の防災化>

- 災害リスクの低い区域への居住の誘導などによる災害に強い都市構造への誘導
- 橋梁の耐震補強，道路法面の防災工事，河川・海岸堤防などの耐震性の向上

<防災・緊急対応基盤の構築>

- 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドの地域の防災拠点，避難場所などとしての機能の充実
- 幹線道路などの整備による避難路ネットワークの形成
- ライフライン施設の耐震性の向上と応急復旧体制の迅速化

オ 都市環境形成の方針

<自然環境の保全と活用>

- 阿波島，スナメリクジラが回遊する海域などの自然レクリエーション資源の自然体験・学習などの場としての活用



<快適な都市環境の創出>

- 高山からの多島美の景観，田園・野鳥の風景などを活かした都市環境の魅力化
- 市民農園などの農とふれあえる場，農業体験や交流の場の提供

カ 都市景観形成の方針

<地域資源を活かした景観形成>

- 地域の景観を特徴づける多島美の景観，田園景観などの維持・向上

<魅力と賑わいのある景観の創出>

- 公共空間や建築物における景観の魅力化，竹原らしいデザインの検討
- 主要道路沿道における重点的な景観形成

キ 暮らしやすい都市空間形成の方針

<すべての世代が暮らしやすい都市環境の整備>

- 歩道の設置・改善，安全なバス停の確保，交通安全施設の整備などによる安全で快適な交通環境の確保
- 道路への防犯灯の設置などによる犯罪，事故の起こりにくいまちづくり

<まちなか居住の魅力化>

- 空き家，空き地を活用した住宅の供給などの促進，交流・レクリエーション空間の整備

<地域拠点の魅力化>

- コミュニティ拠点施設，JR駅などの公共空間のバリアフリー化
- 定住につながる住民交流空間の確保



ク 観光・交流空間の魅力づくりの方針

<観光・交流資源などの魅力化と活用>

- 農と食を活かした地域の魅力化と観光・交流の促進
 - ・たけのこなどの産業資源の観光・交流への活用
 - ・農業と空き家を活用した担い手育成と定住の促進
- 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドの観光・交流資源としての活用
- 海岸沿いの自然景観などを活かした観光ルートの整備
- 栽培漁業センターの「つくり育てる漁業」による水産資源を観光・交流資源として活用



広島県栽培漁業センター

<観光客の受入環境の充実>

- 地域拠点への観光客の休憩・交流スペースの充実，観光情報提供，観光ルート案内機能の充実

(4) 協働のまちづくりの方針

住民自治組織などとの協働により，地域の特徴を活かしたまちづくりを着実に進めます。

【協働のまちづくりの取組例】

- 自然資源，歴史的・文化的資源，産業・社会資源を活かした地域の魅力づくり
- 生活道路の整備などによる居住環境の改善
- まちの美化などによる良好な景観形成
- 市民等による歴史的・文化的景観要素の掘り起こし
- 観光・交流資源，施設などの協働による管理と地域活性化に資する活用の促進
- 自主防災組織の取組の強化などによる地域防災力の向上



福田の獅子舞

(5) 地域拠点形成の方針

J R大乗駅，大乗小学校，大乗公民館，大乗こども園などの公共公益施設が立地する区域を市民の日常生活を支える『地域拠点』として位置づけ，行政と市民等との協働により，誰もが集まり，活躍するコミュニティ拠点づくりを進めます。

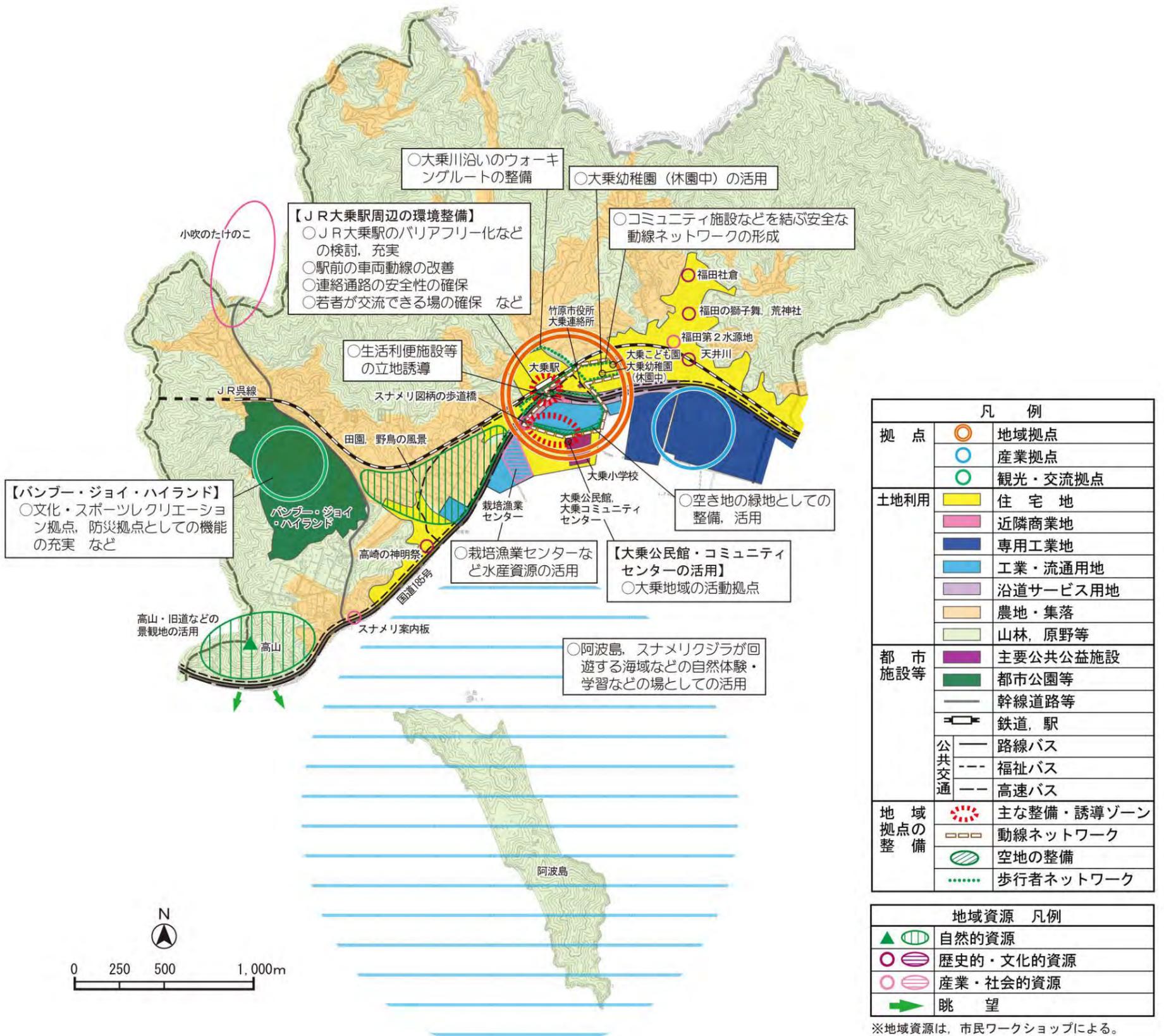
【地域拠点形成に向けた主な取組】

- 地域拠点への生活利便施設などの立地誘導
- 大乗公民館，公有未利用財産などのコミュニティ拠点などとしての活用
- J R大乗駅周辺の環境整備（バリアフリー化，連絡通路の安全性の確保など）
- 歩行者ネットワークの形成（コミュニティ施設などを結ぶ動線ネットワークなど）
- 住民等によるコミュニティ拠点施設などのマネジメントの支援 など



J R大乗駅

■大乗地域のまちづくり方針図



凡例		
拠点	○	地域拠点
	○	産業拠点
	○	観光・交流拠点
土地利用	■	住宅地
	■	近隣商業地
	■	専用工業地
	■	工業・流用地
	■	沿道サービス用地
	■	農地・集落
	■	山林、原野等
都市施設等	■	主要公共公益施設
	■	都市公園等
	—	幹線道路等
	—	鉄道、駅
	—	路線バス
	—	福祉バス
公共交通	—	高速バス
	●	主な整備・誘導ゾーン
	□	動線ネットワーク
地域拠点の整備	○	空地の整備
	●	歩行者ネットワーク

地域資源 凡例	
▲	自然的資源
○	歴史的・文化的資源
○	産業・社会的資源
➡	眺望

※地域資源は、市民ワークショップによる。

2-4 忠海地域

(1) 現況と課題

本地域は、JR忠海駅周辺に商業施設、行政サービス施設などが立地して地域の中心地が形成され、沿岸部から山麓部に住宅地、沿岸西部や内陸東部に工業地が形成されています。

また、大久野島、黒滝山、市街地に分布する社寺などの観光・交流資源が豊富に分布し、本市の観光・交流拠点としての役割を担っています。

人口、世帯数(一般世帯)とも減少傾向が強く、65歳以上の高齢者の割合は34.7%(全市32.8%)、高齢単身・高齢夫婦世帯の割合は36.2%(全市32.3%)と他地域より高くなっています。

まちづくりに関する市民意識は、「生活道路の利便性」、「鉄道の利便性」、「歩行者等への交通安全対策」などを重視する人の割合が高くなっています。

【まちづくりの主要な課題】

- 鉄道の利便性の向上と地域拠点としての機能の強化
- 既存の観光・交流資源を活かした観光・交流の振興
- すべての世代にやさしいまちづくり
- 生活道路の整備、歩行者等への交通安全対策などによる利便性と安全性の向上

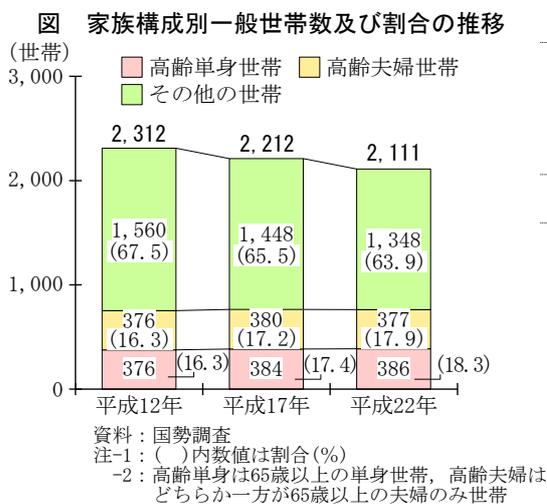
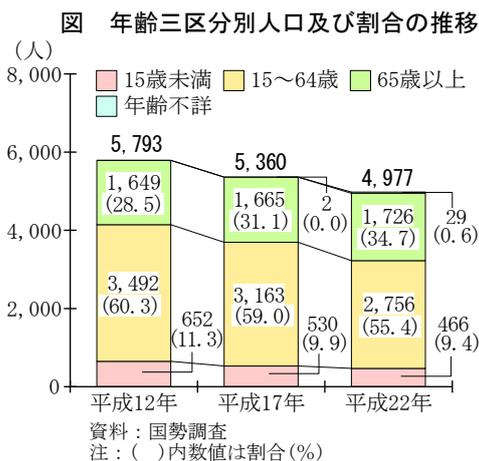


図 まちづくりの要素に対する評価と重要度に関する市民意識

回答者数 153		<不満率>	<重要度>
都市基盤	生活道路の利便性	48.4	51.0
	バスの利便性	39.9	34.0
	鉄道の利便性	62.7	54.9
防災・安全	自然災害への安全性	32.7	42.5
	防災意識	22.9	45.8
	歩行者等への交通安全対策	59.5	52.3
	犯罪の少ないまち	9.2	34.6
環境・景観	水質保全	16.3	22.9
	自然環境の保全・活用	29.4	37.3
	景観保全・形成	9.8	21.6
福祉・子育て	誰もが暮らしやすいまち	31.4	38.6
	子どもを産み育てやすいまち	37.9	45.8
	子どもの遊び場・居場所づくり	40.5	41.8
文化	文化・スポーツ施設の整備・充実	33.3	32.0
	産業	商業機能強化、買い物の利便性向上	50.3
観光振興		34.6	42.5

資料：竹原市まちづくりアンケート調査(平成25年度)
注：地域での暮らし(都市計画に関する項目)について、現在の状況・満足度と今後の取組に対する重要度を質問
不満率：まちづくりの要素に対する評価について、「満足していない」など否定的な回答をした人の割合
重要度：今後の取組で「力を入れてほしい」と回答した人の割合

注：配布数344(票)、回収数 153(票)、回収率44.5(%)

(2) 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

ア 地域の位置づけ

- ◆ JR忠海駅周辺に商業施設、行政サービス施設などが立地して地域の中心地が形成され、市民の日常生活を支える『地域拠点』
- ◆ 大久野島、黒滝山、市街地に分布する社寺などの観光・交流資源が豊富に分布し、観光都市としての活力を牽引する『観光・交流拠点』

イ 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

【地域の将来像】

人が元気に生活するまち「忠海」

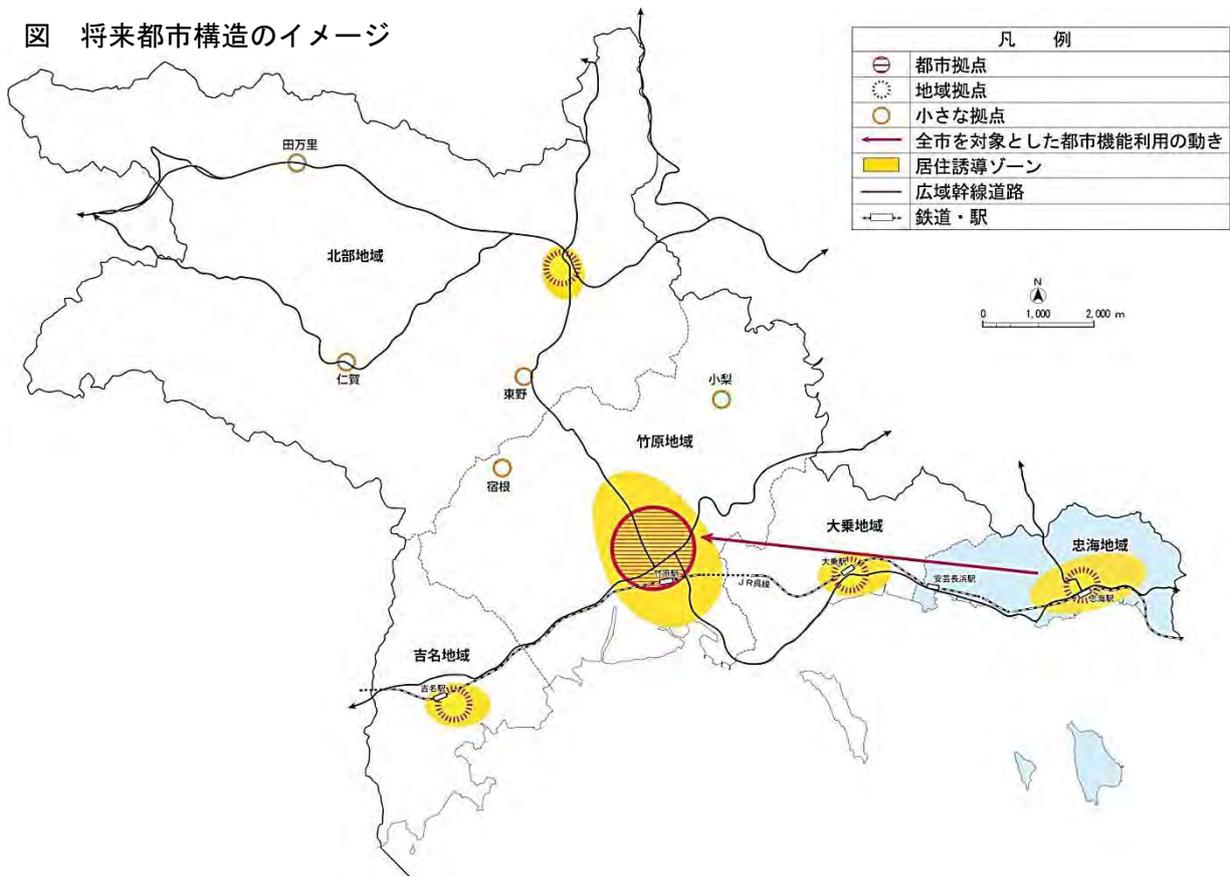
【まちづくりの基本的方向】

- ① 自然と歴史を守り、活かすまちづくり
- ② 観光客の行き交う賑わいのあるまちづくり
- ③ 学習環境の充実したまちづくり
- ④ 高齢者、大人、子どもが元気に暮らせるまちづくり
- ⑤ 地域みんなが安全かつ安心できる、暮らしやすいまちづくり

ウ 都市構造形成の方針

- 地域拠点における忠海地域を対象とした都市的サービス機能の充実
- 地域拠点の周辺や駅周辺への居住の誘導
- 居住地、地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実

図 将来都市構造のイメージ



(3) まちづくりの方針

ア 土地利用の方針

<都市的土地利用>

- 用途地域の指定区域のうち市街化の進んでいない区域の土地利用の方針の見直し
- 住宅系の土地利用の区域における住宅主体の土地利用の維持と良好な住環境の維持
- JR忠海駅周辺の「近隣商業地」における地域住民を対象とした商業・サービス施設、店舗などの立地誘導
- 沿岸部や忠海東町周辺の「専用工業地」としての土地利用の維持と周辺環境の保護
- 長浜地区、国道185号沿線「工業・流通用地」の土地利用の維持と周辺の住環境の保護
- 忠海西町から東町にかけての国道185号沿道における休憩所や給油所など沿道サービス施設の立地誘導と背後地の住環境の保護

<農業的土地利用>

- 農地の保全及び集落における生活環境の整備などによる快適な住環境の確保

<その他の土地利用>

- 大久野島、黒滝山などの観光・レクリエーション用地としての活用
- 宮床海岸、長浜の自然海岸や黒滝山など良好な自然環境・自然緑地の保全

イ 都市施設の整備・活用の方針

<道路>

- 広域幹線道路，地区幹線道路の整備
 - ・国道185号（歩道の整備）
 - ・主要地方道東広島本郷忠海線（都市計画道路忠海中央線）
 - ・市道宮床線，市道忠海中学校線
- 歩行者，自転車空間のネットワークの整備，安全性と利便性の確保
- 道路空間のバリアフリー化，ユニバーサルデザインの導入



<公共交通>

- 居住地，地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実
- 地域の実情に応じた公共交通手段の検討
- JR忠海駅の駅前広場の整備，ユニバーサルデザインの導入の促進
- JR安芸長浜駅，バス停などの環境整備（バリアフリー化など）の充実

<忠海港>

- 市街地と港を結ぶ道路の整備，防災機能の充実
- JR忠海駅と忠海栈橋を結ぶ歩行者通路の整備と駐車場，駐輪場の整備するなど，港湾の管理運営と円滑な利用に向けた港湾機能の整備
- 二窓漁港，長浜漁港については，水産資源と地域特性を活かし活用

<都市公園等>

- 冠崎公園の防災拠点としての整備の検討
- 公有未利用地の活用によるコミュニティの場，防災空間など多機能を有する広場の整備
- 臨海部の親水空間の整備，都市公園等を結ぶネットワークの形成

<下水道等>

- 地域に最も適した污水处理施設の整備

ウ 市街地の整備方針

<計画的な市街地の形成>

- 都市機能の地域拠点への集約化及び居住の誘導による市街地の活性化
- 拠点相互を結ぶネットワークの充実

<既成市街地における居住環境の向上>

- 街並み環境整備事業を活用した生活道路の整備など居住環境の整備
- 空き家の活用及び適正管理，老朽化した空き家の除却と跡地の有効利用
- 未利用地や遊休公有地の活用などによる良質な住宅の供給

エ 防災都市づくりの方針

<災害対策の推進>

- 急傾斜地崩壊対策事業，砂防事業などの土砂災害対策の推進
- 高潮対策事業，用排水路の改修・整備などの水害対策の推進
- 各種災害に係るハザードマップの周知

<都市構造の防災化>

- 災害リスクの低い区域への居住の誘導などによる災害に強い都市構造への誘導
- 橋梁の耐震補強，道路法面の防災工事
- 港湾施設，海岸堤防などの耐震性の向上
- 地域拠点などにおける市街地の不燃化・難燃化，耐震化の促進

<防災・緊急対応基盤の構築>

- 都市公園，公共施設などを活用した地域の防災拠点機能，避難場所などの確保
- 都市公園における備蓄倉庫の設置などによる防災機能の充実
- 幹線道路などの整備による避難路ネットワークの形成
- ライフライン施設の耐震性の向上と応急復旧体制の迅速化

オ 都市環境形成の方針

<自然環境の保全と活用>

- 黒滝山，観喜山，大久野島など自然レクリエーション資源の自然体験・学習の場としての活用

<快適な都市環境の創出>

- 大久野島，旧市街地内の町家，社寺などの地域資源を活かしたまちづくり
- 市街地内の緑とオープンスペースの保全，創出と都市緑化
- 良好な都市環境を維持するための空き家，空き地の有効活用と適正な管理



カ 都市景観形成の方針

＜地域資源を活かした景観形成＞

- 旧市街地内の町家，社寺などの歴史的・文化的景観の維持・向上

＜魅力と賑わいのある景観の創出＞

- 公共空間や建築物における景観の魅力化，竹原らしいデザインの検討
- 主要道路沿道，JR忠海駅周辺などにおける重点的な景観形成



J R 忠海駅

キ 暮らしやすい都市空間形成の方針

＜すべての世代が暮らしやすい都市環境の整備＞

- 歩道の設置・改善，バスベ이의整備，交通安全施設の整備，ゾーン30の区域拡大などによる安全で快適な交通環境の確保
- 道路，公園などへの防犯灯の設置などによる犯罪，事故の起こりにくいまちづくり

＜まちなか居住の魅力化＞

- 空き家，空き地を活用した住宅の供給などの促進，交流・レクリエーション空間の整備

＜地域拠点の魅力化＞

- コミュニティ拠点施設，JR駅などの公共空間のバリアフリー化
- 交流サロンなど定住につながる住民交流空間の確保



忠海の町並み

ク 観光・交流空間の魅力づくりの方針

＜観光・交流資源などの魅力化と活用＞

- 社寺巡りなど地域資源を活かした地域の魅力化と観光・交流の促進
- 大久野島，黒滝山，観喜山，海岸沿いの自然景観などを活かした観光ルートの整備
- 観光・交流拠点を巡る周遊ルートの整備，充実（駐車場の確保など）

＜観光客の受入環境の充実＞

- 忠海港が四国大三島への玄関口である特性を活かし，JR忠海駅，忠海港などにおける休憩・交流スペース，観光情報提供，観光ルート案内機能の充実
- 多言語表記やサイン表記など誰にでも分かりやすい案内表示の導入



忠海港

(4) 協働のまちづくりの方針

住民自治組織などとの協働により、地域の特性特徴を活かしたまちづくりを着実に進めます。

【協働のまちづくりの取組例】

- 自然資源、歴史的・文化的資源、産業・社会資源を活かした地域の魅力づくり
- 生活道路、小公園の整備などによる居住環境の改善
- 公園里親制度の活用など市民参加型公園管理
- 旧忠海西小学校、旧忠海東小学校跡地の地域の活性化につながる有効活用の検討
- まちの美化などによる良好な景観形成
- 市民等による歴史的・文化的景観資源の掘り起こし
- 観光・交流資源、施設などの協働による管理と地域活性化に資する活用の促進
- 自主防災組織の取組の強化などによる地域防災力の向上



内堀公園整備ミニワークショップ

(5) 地域拠点形成の方針

J R 忠海駅周辺を中心として、忠海支所周辺、旧忠海西小学校、旧忠海東小学校などを含む区域を市民の日常生活を支える『地域拠点』として位置づけ、行政と市民等との協働により、市民、来訪者の誰もが笑顔でふれあう拠点づくりを進めます。



忠海東小学校跡地と神明さん

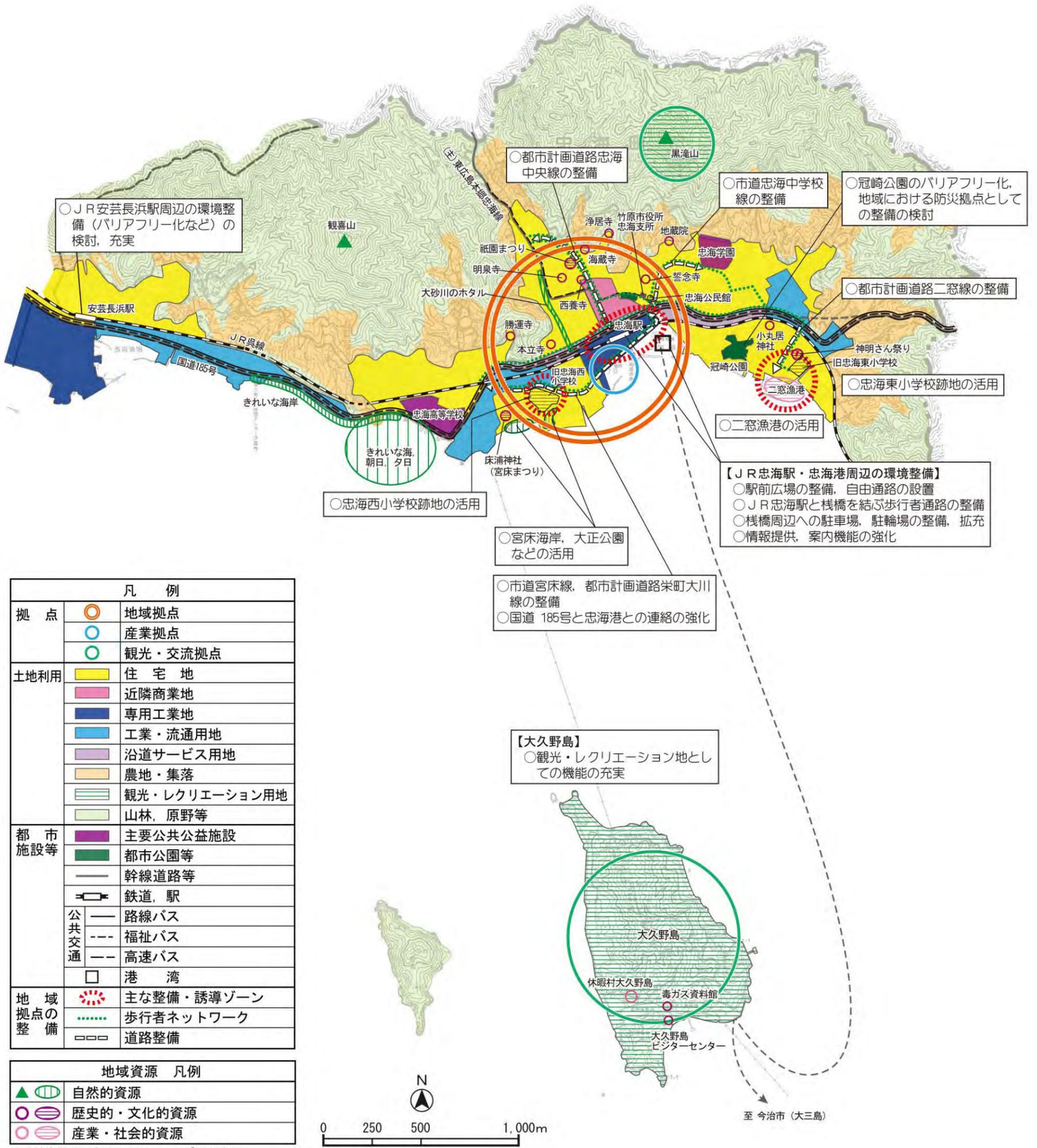
【地域拠点形成に向けた主な取組】

- 忠海西小学校跡地、忠海東小学校跡地の活用
- J R 忠海駅、忠海港周辺の環境整備（駅前広場の整備、駐車場・駐輪場の整備など）
- 主要な公共施設などを結ぶ歩行者ネットワークの形成
- 住民等によるコミュニティ拠点施設などのマネジメントの支援 など



忠海西小学校跡地

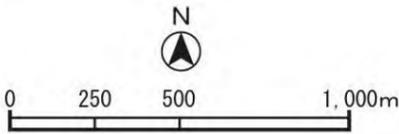
■ 忠海地域のまちづくり方針図



凡 例		
拠 点	○ 地域拠点	
	○ 産業拠点	
	○ 観光・交流拠点	
土 地 利 用	住宅地	
	近隣商業地	
	専用工業地	
	工業・流用地	
	沿道サービス用地	
	農地・集落	
	観光・レクリエーション用地	
	山林，原野等	
都 市 施 設 等	主要公共公益施設	
	都市公園等	
	幹線道路等	
	鉄道，駅	
	公 共 交 通	路線バス
		福祉バス
		高速バス
港 湾		
地 域 拠 点 の 整 備	主な整備・誘導ゾーン	
	歩行者ネットワーク	
	道路整備	

地域資源 凡例	
▲ ○	自然的資源
○ ○	歴史的・文化的資源
○ ○	産業・社会的資源

※地域資源は，市民ワークショップによる。



2-5 北部地域

(1) 現況と課題

本地域は、国道2号、同432号、一般県道上三永竹原線などの道路沿いに農業集落や田園地帯が分布し、国道の交差する荘野地区には小・中学校、公民館、行政サービス施設などが立地してコミュニティの中心地が、その南側の国道432号沿いには市街地が形成されています。

また、新庄地区に工業・流通団地が整備されています。

本地域は、湯坂温泉郷などの観光・交流資源や自然的、歴史的資源が豊富に分布し、これらを旧山陽道や中国自然歩道がつないでおり、本市の多様な魅力の一端を担っています。

人口は減少傾向、世帯数（一般世帯）は横ばい傾向にあり、65歳以上の高齢者の割合は32.0%（全市32.8%）、高齢単身・高齢夫婦世帯の割合は30.2%（全市32.3%）となっています。

まちづくりに関する市民意識は、「防災意識」、「子どもを産み育てやすいまち」などを重視する人の割合が高くなっています。

【まちづくりの主要な課題】

- 分散した居住地、市街地の利便性の向上に向けた地域の中心地としての機能の向上
- 地域資源や田園環境を活かしたまちの魅力化と観光・交流の振興
- すべての世代にやさしいまちづくり
- 自然災害への備えなど防災・安全に配慮したまちづくり

図 年齢三区分別人口及び割合の推移

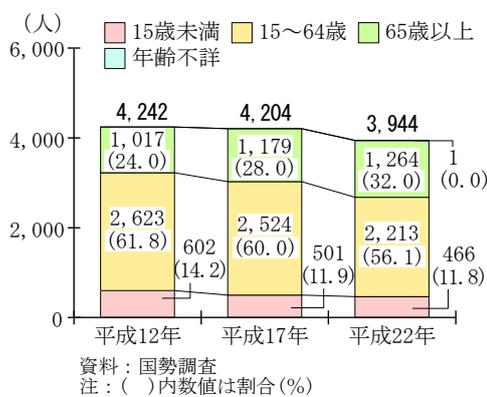


図 家族構成別一般世帯数及び割合の推移

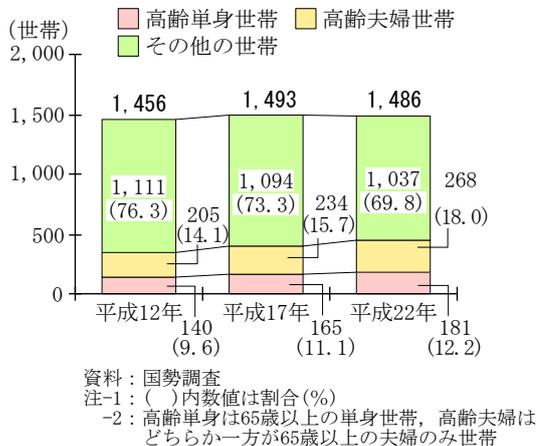


図 まちづくりの要素に対する評価と重要度に関する市民意識

回答者数 117		＜不満率＞		＜重要度＞	
都市・交通	生活道路の利便性	35.0	38.5		
	バスの利便性	49.6	36.8		
	鉄道の利便性	41.0	30.8		
防災・安全	自然災害への安全性	36.8	44.4		
	防災意識	37.6	50.4		
	歩行者等への交通安全対策	44.4	45.3		
	犯罪の少ないまち	21.4	31.6		
環境・景観	水質保全	32.5	41.9		
	自然環境の保全・活用	42.7	43.6		
	景観保全・形成	12.0	18.8		
福祉・子育て	誰もが暮らしやすいまち	32.5	38.5		
	子どもを産み育てやすいまち	50.4	53.0		
	子どもの遊び場・居場所づくり	44.4	47.9		
文化	文化・スポーツ施設の整備・充実	28.2	29.1		
	産業	商業機能強化、買い物の利便性向上	40.2	43.6	
		観光振興	29.1	41.9	

資料：竹原市まちづくりアンケート調査（平成25年度）
注：地域での暮らし（都市計画に関する項目）について、現在の状況・満足度と今後の取組に対する重要度を質問
不満率：まちづくりの要素に対する評価について、「満足していない」など否定的な回答をした人の割合
重要度：今後の取組で「力を入れてほしい」と回答した人の割合

注：配布数284（票）、回収数117（票）、回収率41.2（%）

(2) 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

ア 地域の位置づけ

- ◆国道2号と同432号の交差する荘野地区に小・中学校、公民館、行政サービス施設などが立地し、市民の日常生活を支える『地域拠点』
- ◆田園環境の中に湯坂温泉郷などの観光・交流施設や自然的資源、歴史的資源が豊富に分布し、本市の持つ多様な魅力の一端を担う『田園・交流ゾーン』

イ 地域の将来像とまちづくりの基本的方向

【地域の将来像】

緑豊かで、地域愛と誇りにあふれる 交流の里「北部」

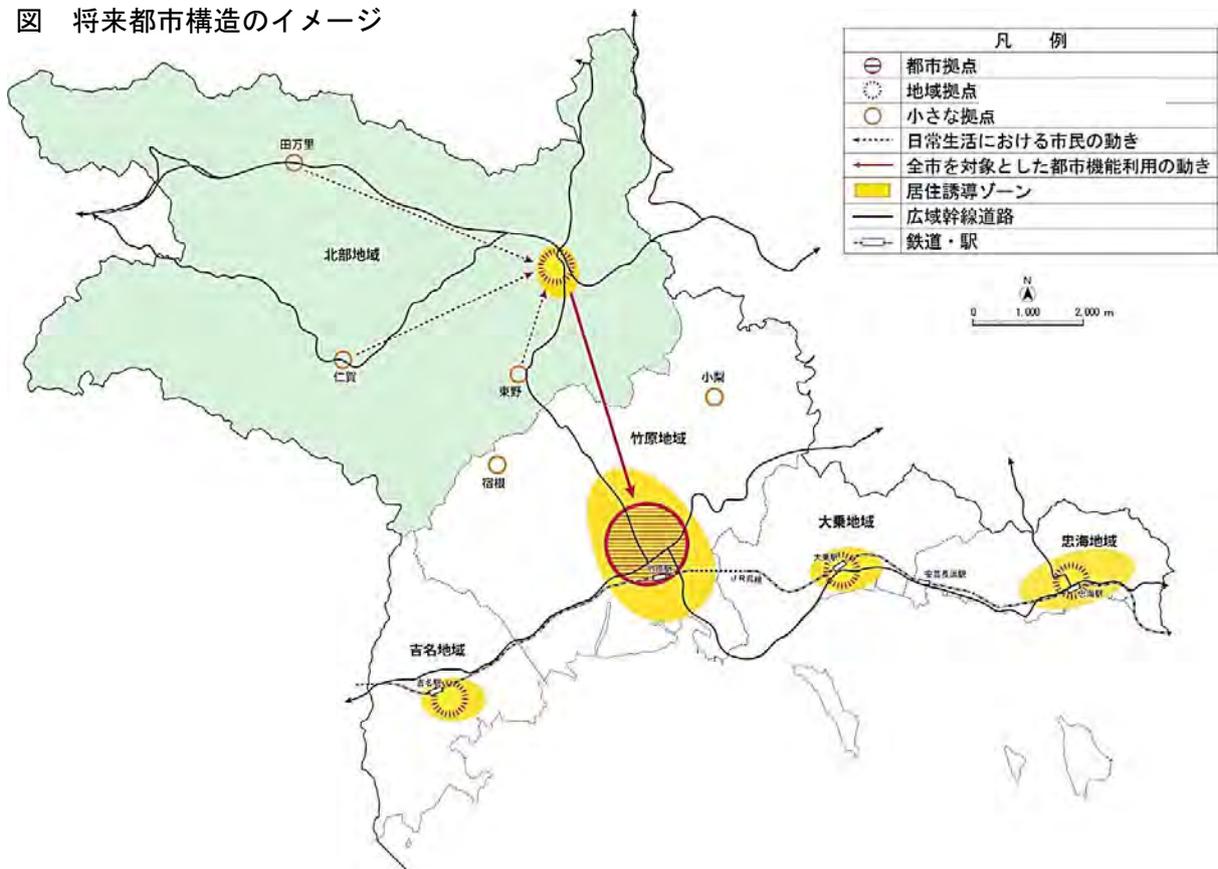
【まちづくりの基本的方向】

- ① 歴史、文化を継承するまちづくり
- ② 緑豊かで、観光と資源のある美しいまちづくり
- ③ 地域への愛着と誇りが持てる住みよいまちづくり
- ④ 安全で安心して暮らせるまちづくり
- ⑤ 北部5町の協力と助けあいによる活力あるまちづくり

ウ 都市構造形成の方針

- 地域拠点における北部地域を対象とした都市的サービス機能の充実
- 東野、仁賀、田万里の各地区における生活サービス機能の維持
- 地域拠点の周辺への居住の誘導
- 居住地、各地区と地域拠点、都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実

図 将来都市構造のイメージ



(3) まちづくりの方針

ア 土地利用の方針

<都市的土地利用>

- 用途地域の指定区域のうち市街化の進んでいない区域の土地利用の方針の見直し
- 住宅系の土地利用の区域における住宅主体の土地利用の維持と良好な住環境の維持
- 竹原工業・流通団地における「専用工業地」としての土地利用の維持，新規企業の立地促進
- 工場と住宅が混在している国道 432号沿道の区域における「工業・流通用地」としての土地利用の維持
- 東野地区の国道 432号バイパス沿いのまとまりのある未利用地の「工業・流通用地」としての土地利用の誘導
- 国道 432号沿道における休憩所や給油所などの沿道サービス施設の立地誘導と背後地の住環境の保護



国道 432号

<農業的土地利用>

- 農地の保全及び「農」とふれあう場などとしての多様な活用
- 集落における生活環境の整備などによる快適な住環境の確保

<その他の土地利用>

- 湯坂温泉郷，仁賀ダム・芙蓉湖，賀茂川河岸の親水空間などの観光・レクリエーション用地としての活用
- 賀茂川の源流である荒谷山など良好な自然環境・自然緑地の保全

イ 都市施設の整備・活用の方針

<道路>

- 広域幹線道路の整備（国道 432号・竹原バイパスの整備）
- 歩行者，自転車空間のネットワークの整備，安全性と利便性の確保
- 道路空間のバリアフリー化

<公共交通>

- 居住地，地域拠点と都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの充実
- 地域の実情に応じた公共交通手段の検討
- バス停などの環境整備（バリアフリー化など）の充実

<都市公園等>

- 仁賀ダム周辺の多目的広場などを市民等のコミュニティスペースとしての活用

<下水道等>

- 地域に最も適した污水处理施設の整備



仁賀ダム多目的広場

ウ 市街地の整備方針

<計画的な市街地の形成>

- 都市機能の地域拠点への集約化及び居住の誘導
- 拠点相互を結ぶネットワークの充実
- 東野地区の国道 432号バイパス沿いのまとまりのある未利用地について，地区計画の活用などによる計画的な市街地の形成



整備中の国道 432号 竹原バイパス

エ 防災都市づくりの方針

<災害対策の推進>

- 急傾斜地崩壊対策事業，砂防事業などの土砂災害対策の推進
- 賀茂川，田万里川，葛子川の改修，用排水路の改修・整備などの水害対策の推進
- 各種災害に係るハザードマップの周知

<都市構造の防災化>

- 橋梁の耐震補強，道路法面の防災工事，河川，河岸堤防などの耐震性の向上
- 災害リスクの低い区域への居住の誘導などによる災害に強い都市構造への誘導

<防災・緊急対応基盤の構築>

- 公共施設などを活用した地域の防災拠点機能，避難場所などの確保
- 幹線道路などの整備による避難路ネットワークの形成
- ライフライン施設の耐震性の向上と応急復旧体制の迅速化

賀茂川（東野町）



オ 都市環境形成の方針

<自然環境の保全と活用>

- 荒谷山（賀茂川の源流），仁賀ダム周辺，中国自然歩道などの自然レクリエーション資源の自然体験・学習の場としての活用

<快適な都市環境の創出>

- 市民農園などの農とふれあえる場，農業体験や交流の場の提供
- 良好な都市環境を維持するための空き家，空き地の有効活用
- 自然資源を活かした水と緑のネットワークの形成



仁賀ダムと広場

カ 都市景観形成の方針

<地域資源を活かした景観形成>

- ほ場整備と併せた地域の景観を特徴づける田園景観の維持，向上

<魅力と賑わいのある景観の創出>

- 公共空間や建築物における景観の魅力化，竹原らしいデザインの検討
- 主要道路沿道，観光・交流拠点周辺などにおける重点的な景観形成
- 湯坂温泉郷における安らぎと情緒を感じられる温泉観光地にふさわしい景観づくり



中田万里地区ほ場整備

キ 暮らしやすい都市空間形成の方針

<すべての世代が暮らしやすい都市環境の整備>

- 歩道の設置・改善，安全なバス停の確保，交通安全施設の整備などによる安全で快適な交通環境の確保
- 道路への防犯灯の設置などによる犯罪，事故の起こりにくいまちづくり

<地域拠点の魅力化>

- コミュニティ拠点施設などの公共空間のバリアフリー化

ク 観光・交流空間の魅力づくりの方針

<観光・交流資源などの魅力化と活用>

- 自然資源，歴史的資源などの地域資源を活かした地域の魅力化と観光・交流の促進
 - ・古墳や史跡などの歴史的資源などの活用
 - ・中国自然歩道，旧山陽道などの地域資源のネットワーク化
 - ・農産物の加工，直売体制づくりなど地域資源を活用した地域の活性化
 - ・農とふれあえる場，農業体験や交流の場としての活用
- 湯坂温泉郷や仁賀ダム・芙蓉湖などの観光・交流拠点の整備・充実，観光ルートの整備

<観光客の受入環境の充実>

- 湯坂温泉郷などにおける観光情報提供，観光ルート案内機能などの充実，
- 多言語表記やサイン表記など誰にでも分かりやすい案内表示の導入



湯坂温泉郷

(4) 協働のまちづくりの方針

住民自治組織などとの協働により，地域の特徴を活かしたまちづくりを着実に進めます。

【協働のまちづくりの取組例】

- 自然資源，歴史的・文化的資源，産業・社会資源を活かした地域の魅力づくり
- まちの美化などによる良好な景観形成
- 市民等による歴史的・文化的景観要素の掘り起こし
- 観光・交流資源，施設などの協働による管理と地域活性化に資する活用の促進
- 自主防災組織の取組の強化などによる地域防災力の向上



賀茂川清掃作業

(5) 地域拠点形成の方針

国道2号と同432号が交差し，公共公益施設が分布する荘野地区と，その南側の国道432号バイパス沿いの区域を市民の日常生活を支える『地域拠点』として位置づけ，行政と市民等との協働により，地域の活性化を牽引する拠点づくりを進めます。

【地域拠点形成に向けた主な取組】

- 地域拠点への生活利便施設などの立地誘導
- 国道432号バイパス沿いへの地域資源を活かした魅力づくりの場の確保（農産物，流通，交流，情報発信など）
- 荘野公民館，公有未利用地などのコミュニティ拠点などとしての活用
- 住民等によるコミュニティ拠点施設などのマネジメントの支援 など

■北部地域のまちづくり方針図

